

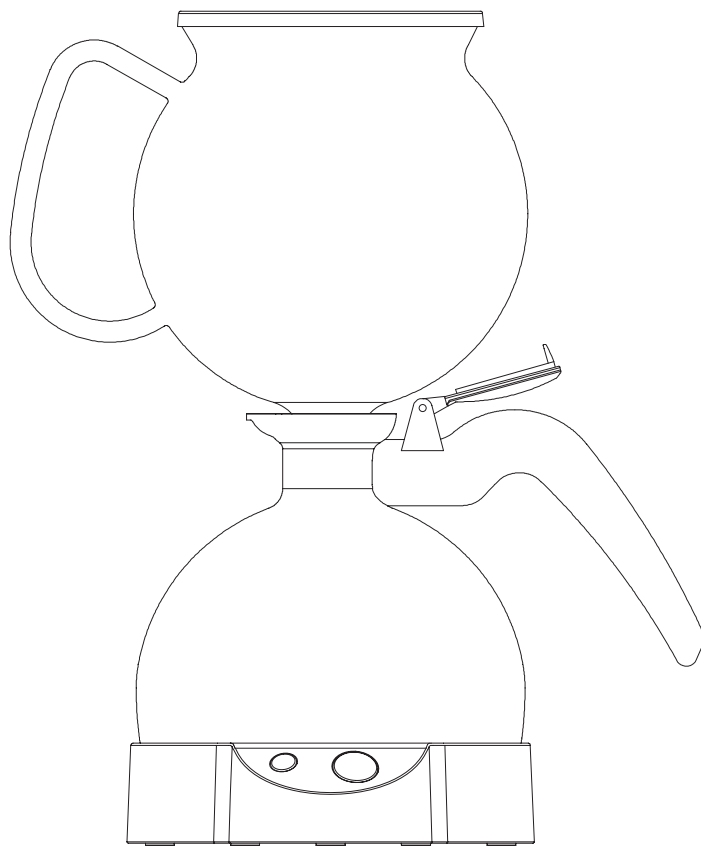
bodum[®]

11822 ePEBO

バキューム コーヒーマーカー

取扱説明書

日本語



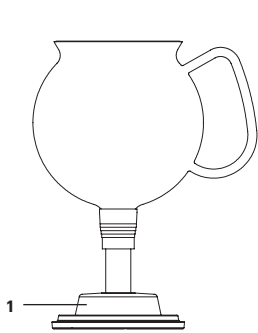


图2

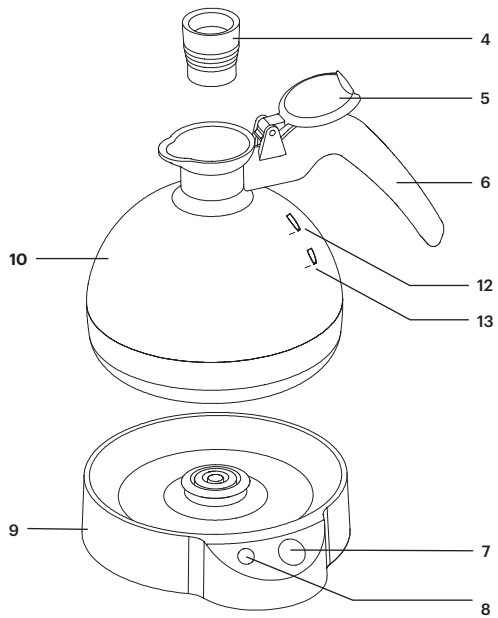
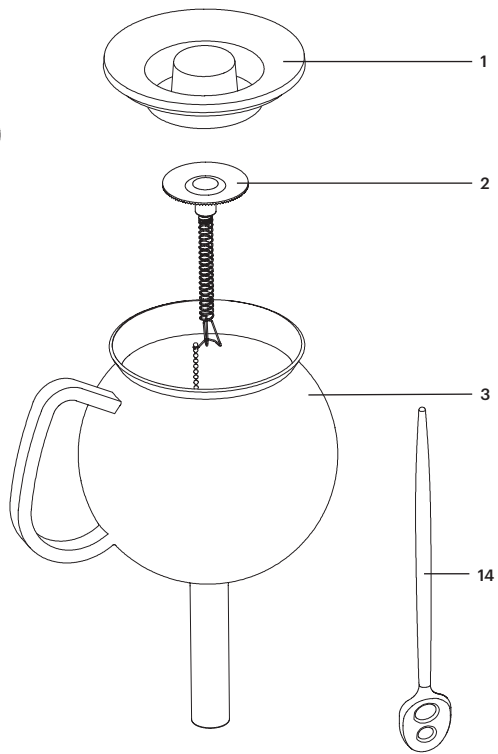
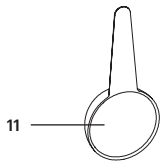


图1

ご使用になる前に

この度は、BODUM® ePEBO バキュームコーヒーマーカーをお買い上げいただき誠にありがとうございます。

本製品をご使用になる前に、本取扱説明書をよくお読みください。

バキュームコーヒーマーカー

各部の名称

1	ファンネルフタ	5	ジャグフタ	9	電源ベース	13	最小水量表示
2	フィルター	6	ジャグハンドル	10	ジャグ	14	攪拌スプーン
3	ファンネル	7	ON/OFFボタン	11	計量スプーン		
4	ファンネルガasket	8	保温ボタン	12	最大水量表示		

△ 警告 誤った取り扱いをしたときに、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

△ 注意 誤った取り扱いをしたときに、人が障害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容を示しています。

安全注意事項

家庭電化製品をご使用になる場合には、必ず下記事項を含む基本的安全注意事項に沿ってご使用ください。

本製品を初めてご使用になる際には、ご使用前に取扱説明書全体をよくお読みください。

取扱手順および安全注意事項を守らないと危険を伴う場合があります。

製品開封後、製品に損傷がないか確認してください。

損傷の疑いがある場合には、そのままご使用にならず、ボダムジャパン・サービスセンターにご連絡ください。

△【警告】製品梱包材（段ボール、ビニール袋）はお子様の手の届くところに置かないでください（窒息やケガの危険があります）。

△【注意】本製品を本来の用途以外にご使用にならないでください。

△【注意】本製品は家庭用、屋内専用として設計されています。屋外ではご使用にならないでください。

△【注意】本製品は付属の電源ベースでのみご使用ください。

△【注意】本製品をガスコンロや加熱した電気コンロにかけたり、近くに置いたりしないでください。また予熱されているオープンに入れしないでください。

△【警告】誤って使用されますとケガの原因になります！ 使用上の誤りあるいは用途外のご使用によって生じた損傷やケガについてはBODUM® 社は一切責任を負いません。本製品は、本来の使用目的でのみご使用ください。

△【警告】お子様を本製品で遊ばせないでください。

△【警告】本製品をお子様や製品に不慣れな人の近くでご使用になる場合には、常に注意を払ってご使用ください。

△【警告】本製品を身体的、感覚的または精神的な機能に制限があるか、または製品について必要な経験や知識が不足している人（子供を含む）がご使用になる場合は、使用上の安全を確認できる大人が付き添い、監督や指示

を行いながら使用してください。お子様が本製品で遊ばないように、監督をしてください。

△【注意】本製品は8歳以上のお子様からご使用いただけますが、使用上の危険性を理解したうえで、大人が安全な使用方法の監督、または指示を行いながら使用してください。本製品のクリーニング及びメンテナンスに関しても、8歳以上のお子様から行えますが、大人が監督しながら実施してください。

△【警告】本製品、および製品のコードを8歳未満のお子様の手が届くところに置かないでください。

△【注意】本製品を湿った手や濡れた手で触らないようにしてください。

△【警告】濡れた手で電源ケーブルやプラグに触らないでください。

△【注意】本製品の高温部には触れないでください。

△【注意】ガラスファンネル(3)やフィルターホルダーはハンドルを持ってください。

△【警告】メーカーが推奨しない付属品等をご使用にならないでください。火災や感電またはケガを招く恐れがあります。

△【警告】水が入っていない状態で本製品の電源を入れしないでください。

△【注意】ジャグ(10)に入れる水の量は、最大水量表示(12)以下にしてください。

△【注意】コーヒー抽出中にファンネルフタ(1)を開けないでください。コーヒー抽出中に発生する水蒸気に触れると、火傷をする危険性があります。

△【注意】沸騰したお湯は火傷の恐れがあります。

△【注意】本製品のON/OFFボタン(7)を常に簡単に操作できるようにしてご使用ください。

△【注意】本製品の損傷を防ぐため、アルカリ性洗剤はご使用にならないでください。

△【注意】製品の清掃を行う際には柔らかい布や中性洗剤をご使用ください。

△【注意】本製品を絶対に水に浸けないでください。本製品は電化製品です。

△【注意】ジャグ(10)の外側は軽く湿らせた布で拭いてください。本製品の電源をオフにする場合には、ON/OFFボタン(7)を押し、コンセントからプラグを抜いてください。

△【警告】本製品を主電源から外す際には、ケーブルではなく常にプラグを持って外してください。

△【警告】電源ケーブルは、テーブルや作業台の端からぶら下げたり、高温部に接触させたりしないでください

△【注意】本製品をご使用にならない時や清掃前は、コンセントからプラグを抜いてください。

△【注意】本製品を清掃する際、または部品の組み立てや取り外しの際は、各部が十分に冷えていることを確認してください。

△【警告】電源ケーブルやプラグが破損した場合、本製品の誤作動があった場合、または何らかの理由により本製品が破損した場合には、本製品を絶対に作動させないでください。そのような場合には製品点検、修理または調整のためボダム・サービスセンターにご連絡ください。

△【警告】電源ケーブルの交換をお客様ご自身で行うのは絶対におやめください。電源ケーブルの交換には特殊工具が必要です。安全にご利用頂くために、製品の修理や電源ケーブルの交換はボダム・サービスセンターにご依頼ください。

△【警告】接続部(プラグ)に液体をかけないでください。

△【警告】火災、感電、ケガの原因となることがありますので、ケーブル、プラグ、製品本体を水などの液体に浸さないでください。

△【注意】本製品を設置する場所(設置面)が乾いている事を、ご使用前に確認してください。

△【注意】本製品をご使用の際は、常にファンネルフタ(1)とファンネル(3)にファンネルガasket(4)とフィルター(2)を装着した状態でご使用ください。

△【注意】電源ONの状態では、空のジャグ(10)を電源ベース(9)に置いたままにしないでください。ジャグが破損する恐れがあります。

△【注意】ジャグ(10)は本製品で使用することを目的に設計されています。

△【注意】絶対にガスコンロ、電気ヒーター等の直火にかけないでください。

△【注意】高温のジャグ(10)を濡れた場所や冷たい面に置かないでください。

△【注意】破損、ひび等のダメージがあるジャグ(10)、ファンネル(3)はご使用にならないでください、またジャグハンドル(6)が緩くなっていたり、弱くなっている場合もご使用にならないでください。

△【注意】洗浄の際は、クレンザー、金属たわし、その他いかなる研磨剤も使用しないでください。

△【注意】加熱部表面は、使用後も高温になっています。

△【注意】本製品をご使用になる際は、キャビネットの中で使用しないでください。

製品の設置について

△【警告】本製品は、濡れた場所は避け、乾き安定した平らな面に置いてご使用ください。高温になる場所や熱源の近くには置かないでください。本製品本体および電源ケーブルはお子様の手の届かない場所に置いてください。

△【注意】本製品をご使用になる場合、絶対にジャグ(10)を金属製トレイや他の金属の上に置かないでください。

△【警告】本製品の銘板に記載された定格電圧が、お住まいまたは本製品をご使用の地域の電源電圧と一致することをご確認ください。緊急時に備えてコンセントを直ちに抜けるよう、電源コンセントの近くでご使用ください

本説明書は大切に保管し、ご使用の際によくお読みください。

本製品は家庭用です。

各部の名称	1	ファンネルフタ	9	電源ベース
	2	フィルター	10	ジャグ
	3	ファンネル	11	計量スプーン
	4	ファンネルガasket	12	最大水量表示
	5	ジャグフタ	13	最小水量表示
	6	ジャグハンドル	14	攪拌スプーン
	7	ON/OFFボタン		
	8	保温ボタン		

重要事項

電源ケーブル

本製品は長い電源ケーブルに絡まったり、引っかかったりする危険性を回避するため、短い電源ケーブルを使用しています。

△【注意】延長ケーブルをご使用になる場合には、延長ケーブルの取扱説明書に従って使用し、十分に注意を払ってご利用ください。

△【注意】延長ケーブルを使用する場合、延長ケーブルの定格容量を確認の上、定格容量を超えないようにご使用ください。長いケーブルは、お子様が引っ張らないよう、またお子様に限らず大人も引っかかってつまづかないように、テーブルの端や作業台の角にかからないようにしてください。

本製品の電源オフ

本製品の電源をオフにするにはON/OFFボタン(7)を押します。

本製品を使用する前に

本製品を初めてご使用の際には、次の手順で本体内部の清掃を行ってからご使用ください。ジャグ(10)に最大水量表示(12)まで水を入れます。ファンネルフタ(1)、ファンネル(3)、ファンネルガasket(4)、フィルター(2)を所定の位置にセットし、ON/OFFボタン(7)押しして作動させます。コーヒー粉は入れないでください。その後、水を流して捨ててください。自動で電源が切れたら、ご使用になる前にそのまま10分以上放置してください。

使い方

ジャグフタ(5)を開け、ジャグ(10)に好みの水量の水を入れます。

ただし、水の量はジャグ(10)の最小水量表示(13)以上、最大水量表示(12)以下となるようにしてください。

抽出方法1

ステップ1 ジャグ(10)に適量の水を入れ、電源ベース(9)にセットします。

ステップ2 ファンネルガラス管にフィルターチェーンを通し、チェーン先端を引っ張りながら金属フックをガラス管先端にひっかけ、フィルター(2)をファンネル(3)に固定します。

ファンネル(3)をジャグ(10)にセットし、完全に密閉されている事を確認してください。

お好みの量のコーヒー粉をファンネル(3)に入れ、ファンネルのフタ(1)をします。

ステップ3 ON/OFFボタン(7)を押します。

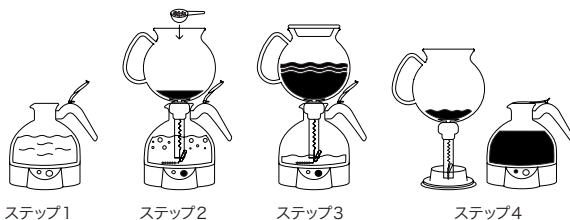
ファンネル(3)にお湯が上がり4分かけてコーヒーが抽出されます。

付属の攪拌スプーン(14)でコーヒー粉を静かに掻き混ぜて、コーヒー粉全体がお湯に浸るようにします。

自動で電源が切れ、抽出されたコーヒーがジャグ(10)に戻ります。

ステップ4 ファンネル(3)を外し、フィルターチェーンを引っ張りながら金属フックをガラス管先端から外します。

ファンネルフタ(1)をひっくり返し、その上にファンネル(3)を立てます。



ステップ1

ステップ2

ステップ3

ステップ4

抽出方法2

ステップ1 ファンネル(3)を準備するために、フィルターチェーンを引っ張りながら、ファンネルガラス管先端から金属フックを外します。ファンネルフタ(1)をひっくり返し、その上にファンネル(3)を立てます。

お好みの量のコーヒー粉をファンネル(3)に入れます。

ジャグ(10)に適量の水を入れ、電源ベース(9)にセットします。

ステップ2 ファンネルガラス管にフィルターチェーンを通し、チェーン先端を引っ張りながら金属フックをファンネルガラス管先端にひっかけ、フィルターをファンネル(3)に固定します。

ファンネル(3)を傾いた状態でジャグ(10)の上に置き、ON/OFFボタン(7)を押します。

ステップ3 ジャグの水が沸騰したら、ファンネル(3)をしっかりとジャグ(10)にセットします。

完全に密閉されている事を確認してください。

付属の攪拌スプーン(14)でコーヒー粉を静かに掻き混ぜて、コーヒー粉全体がお湯に浸るようにします。

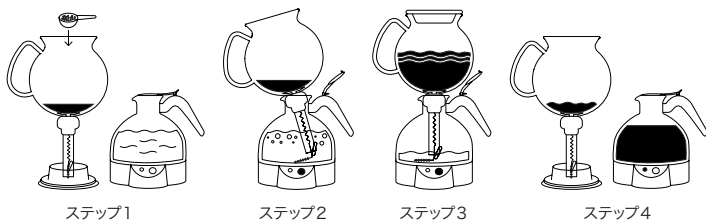
ファンネルフタ(1)をファンネル(3)にセットします。ファンネル(3)にお湯が上がり4分かけてコーヒーが抽出されます。

自動で電源が切れ、抽出されたコーヒーがジャグ(10)に戻ります。

ステップ4 ファンネル(3)を外し、フィルターチェーンを引っ張りながら金属フックをガラス管先端から外します。

ファンネルフタ(1)をひっくり返し、その上にファンネルを立てます。

コーヒーをお楽しみください。



抽出方法3

ステップ1 ジャグ(10)に適量の水を入れ、電源ベース(9)にセットします。

ファンネルガラス管にフィルターチェーンを通し、チェーン先端を引っ張りながら金属フックをガラス管先端にひっかけ、フィルター(2)をファンネル(3)に固定します。

ファンネル(3)をジャグ(10)にセットし、完全に密閉されている事を確認してください。

ステップ2 ON/OFFボタン(7)を押し、ファンネル(3)にフタ(1)をします。

ステップ3 ジャグ(10)の水が全量ファンネル(3)に上がったなら、ファンネルフタ(1)を外し好みの量のコーヒー粉をファンネル(3)に入れます。

付属の攪拌スプーン(14)でコーヒー粉を静かに掻き混ぜて、コーヒー粉全体がお湯に浸るようにします。

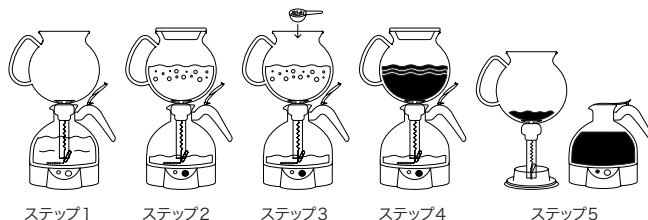
ファンネル(3)にフタ(1)をします。

ステップ4 4分後に自動で電源が切れ、抽出されたコーヒーがジャグ(10)に戻ります。

ステップ5 ファンネル(3)を外し、フィルターチェーンを引っ張りながらフックをガラス管から外します。

ファンネルフタ(1)をひっくり返し、その上にファンネル(3)を立てます。

コーヒーをお楽しみください。



メモ: ジャグ(10)に水が入っていない時には、空焚き防止機能が働きます。

△【警告】ジャグ(10)には透明な冷たい水を入れてください。ミルクなど他の液体はジャグに入れないでください。コーヒーポット1杯分を作るには、最大水位4カップの水量に対して、BODUM® 計量スプーン(11)4杯の中挽きコーヒー粉をファンネル(3)に入れます。少量のコーヒーを作る場合は、コーヒー粉の量も相応に減らしてください。

△【注意】フィルターは必ず付属のフィルター(2)をご使用ください。紙フィルターは絶対にご使用にならないでください。ON/OFFボタン(7)を1回押すとコーヒーの抽出が始まります。ON/OFFボタンは青色になります。数分経つとジャグ(10)の水がガラス管を通りファンネル(3)に上がります。そのまま4分かけてコーヒーが抽出されます。このようにして、ジャグにコーヒーが作られるまで10分程度かかります。

△【注意】コーヒー抽出中にファンネルフタ(1)を開けないでください。コーヒー抽出中にフタを外すと火傷をする恐れがあります。コーヒー抽出が終わると、自動的に電源が切れます。コーヒー抽出中や抽出後、保温ボタンを押すと保温機能が作動します。(30分間コーヒーを保温できます。保温スイッチを入れた後30分を経過すると自動的に保温電源は切れます。)保温ボタンを作動させると、ボタンは赤色に変わります。保温機能は30分間作動して、その後自動的に電源が切れます。コーヒー抽出プロセスが完了したら、ファンネル(3)をジャグから取り外し、図のようにファンネルフタ(1)をひっくり返してその上に立てます。ファンネル(3)をファンネルフタ(1)に置く前に、フィルターチェーンを引っ張ってフィルター(2)を外してください。メモ: フィルター(2)とファンネル(3)はご使用の都度、よく清掃してください。

お手入れ方法

△【注意】本製品のお手入れには、化学薬品、スチールウールたわしや研磨剤の入ったクリーナー等をご使用にならないでください。ジャグ(10)の外側は軽く湿らせた布で拭いてください。

△【注意】ジャグ(10)を絶対に水に浸けないでください。本製品は電化製品です。

△【注意】本製品のお手入れをする前に、コンセントからプラグを外し必ず電源を切ってください。本製品はご使用の都度、よく清掃してください。次の部品は食器洗浄機をご利用いただけます。

1 ファンネルフタ

11 計量スプーン

2 フィルター

14 攪拌スプーン

3 ファンネル

4 ファンネルガasket

食器洗浄機に入れる前に、コーヒー粉がフィルター(2)に残っていない事を確認してください。

ジャグ内部は温かいきれいな流水で洗い、洗剤をつけた台所用ブラシで中を洗浄してからよくすすいでください。

お手入れと保管

水アカ除去

本製品を正しく作動させるため、水アカ(水分に含まれるミネラル分)がたまっていない事を確認してください。

水アカ除去の回数はお住まいの地域の水質によりますが、

本製品を100回ご使用の度に行う事をおすすめします。

△【重要】水アカ除去をしないで水アカがたまってしまうと、故障の原因となることがあります。

定期的に水アカ洗浄を行う事で、製品の耐久年数を延ばし故障を軽減します。

また水蒸気の発生を少なくしコーヒー抽出時間の短縮、電気代の節約にもつながります。

水アカは市販のコーヒーマシン用水アカ洗浄剤または酢と水(酢20%と水80%)の溶液で洗浄してください。

市販のコーヒーマシン用水アカ洗浄剤をご使用の場合は、銅やシリコン素材の加熱部への使用に適している事を確認してください。

(製造者が記載する洗浄剤の仕様と使用量に関する注意事項を十分に確認してください)。

ジャグ(10)に水アカ洗浄剤または酢と水の溶液を入れ(最大水位表示(12)以下まで)、しばらくそのまま放置します。

水アカ洗浄剤または酢と水の溶液を捨て、冷たくきれいな流水で、2回以上すすいでください。

それ以外のお手入れ、修理はボダムジャパン・サービスセンターにご依頼ください。

保管

△【注意】ご使用にならない時は、必ずコンセントからプラグを抜き電源を切ってください。

仕様

技術データ

電源	100V 50Hz/60Hz
定格消費電力	1000W
ケーブル長	約70 cm
容量	0.5 L
保温装置	有
適合マーク	
原産国	中国
品名	e PEBO バキューム式コーヒーメーカー
型式	11822 JP
材質	
ファンネルフタ	飽和ポリエステル樹脂(耐熱温度100°C)
フィルター	ナイロン・ステンレススチール(耐熱温度100°C)
ファンネル	耐熱ガラス(直火用 耐熱温度差150°C)
ファンネルガasket	シリコンゴム(耐熱温度100°C)
ジャグフタ	飽和ポリエステル樹脂(耐熱温度100°C)
ジャグ	飽和ポリエステル樹脂(耐熱温度100°C)
計量スプーン	ポリプロピレン(耐熱温度100°C)
攪拌スプーン	ポリプロピレン(耐熱温度100°C)
ヒーター	ステンレススチール

アフターサービス

ボダムジャパンは、BODUM® e PEBO バキューム式コーヒーメーカーについて、当初ご購入日から1年間、製品の設計または製造上の欠陥に由来する素材不良および故障を保証します。

すべての保証条件を満たす場合は無料で修理を行います。

返金はいたしかねます。

保証条件：保証書が購入時に販売者によって記入されていること。

保証サービスを受ける際に、保証書を提示すること。

保証サービスの提供は、BODUM®正規特約店のみが行う。

BODUM®は、不適切な使用、誤った取扱い、通常の摩耗や破損、不適切または誤ったメンテナンスやお手入れ、部外者による機器の誤った操作や使用に起因する損害については保証しません。

○保証期間内に、取扱説明書や定格ラベルに従って使用した製品が故障した場合は、無料で修理いたします。

ボダムジャパン・サービスセンターにご連絡ください。

○運賃などの費用が発生する場合があります。

○保証期間中でも、次のような場合には、原則として有料となります。

(イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷。

(ロ) お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷。

ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障及び損傷。

(ニ) 保証書のご提示がない場合。

(ホ) 本保証書にご購入日、お客様名、販売店名の記入がない場合。あるいは字句を書き換えられた場合。

(ヘ) 消耗部品の消耗、またはそれによる故障。

○保証書は日本国内において有効です。

○保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

ご使用中に異常が生じた場合は、直ちに電源を切り、プラグをコンセントから抜いてください。

その後、ボダムジャパン・サービスセンターにご連絡ください。(下記参照)

ボダムジャパン・サービスセンター

住所 〒331-0811 埼玉県さいたま市北区吉野町 2-8-4

電話番号 0120-436-284

受付時間 月曜日～金曜日 9:00～17:00

(土日、祝日、年末年始、夏季休暇を除く)

※お客様のご意見・ご要望に対して迅速かつ適切に対応するため、またサービス向上のために、通話を録音させて頂く場合がございます。ご了承ください。

保証書 **BODUM® e PEBO バキュームコーヒーマーカー**

型式 11822 JP

保証期間 保証期間 当初ご購入日から1年間

当初ご購入日 ※

お名前 ※

住所 ※

〒

電話番号※

販売店名 ※

〒

電話番号

※の箇所に記入がない場合は無効となりますので、必ずご記入ください。

●個人情報の取扱いについて

ご記入いただいた保証書は、保証期間内のアフターサービス及びそれに続く安全点検などに利用させていただきます。ご了承ください。

また、お客様の個人情報を、修理のために弊社からメンテナンス委託業者などに預ける場合がございます。その際には個人情報保護法及び同等の規定に従いますのでご理解ください。

ボダムジャパン株式会社

〒150-0001

東京都渋谷区神宮前3-25-12

電話番号 03-5775-0681

ボダムジャパン・サービスセンター

住所 〒331-0811 埼玉県さいたま市北区吉野町 2-8-4

電話番号 0120-436-284

レシートを貼ってくださいThe logo for Bodum, featuring the word "bodum" in a white, lowercase, sans-serif font inside a red rectangular box.www.bodum.com